

3E with DARUMA



高校生活最後の夏休みは、正直「苦しかった」です。まず、休みに入って早々に河合塾の夏期講習があったのですが、まさかの初日から遅刻という衝撃的な夏の幕開けとなりました。河合塾に行って、他の受験生徒の違いに衝撃を受けました。特に自習スペースの争奪戦はまさに「戦い」で、全員が必死に学習に取り組んでおり、どこか余裕を感じていた自分がとても恥ずかしくなりました。この夏に自分のライバルとなる受験生の姿勢、気迫を見れたことで、受験に対する考え方や姿勢を見つめ直す良い機会になったと思います。

志望校である東北大学に合格できるように、最後に笑えるように、「あのとき頑張ってた良かった」と思えるように、これからも全力で頑張ります。
阿部央(3年・日新中卒)

2E in AUSTRALIA

初めての英語圏での生活だったが、日々の学校生活もホストファミリーとすごした週末も、どちらもとても楽しかった。同時に、英語の速さの違いに自分の英語力の改善点を見出すことができたので、これからの学習のモチベーションにしていきたいと思う。いつかまたオーストラリアを訪れてみたい。

横山翼(2年・小国中卒)



オーストラリアで特に印象に残っているのは、学校の授業です。生徒の積極的な発言などには圧倒されました。また、ホストファミリーが話をしている中で、私の名前が出ていてもその内容を理解できず悔しい思いもしました。この語学研修で学んだこと今後の学習の糧にして生活していきたいです。

山科沙希(2年・日新中卒)

1E at BIO SUMMIT

高度な研究に学ぶことが多かったのはもちろんのことですが、何より参加者の方々の学ぶことに対する意欲的な姿勢に驚きました。その熱意を見習って今後の生活や探究活動に取り組んでいきたいと思えます。

梅津莉央(1年・日新中学校卒)



物事を多角的に捉える広い視野、物事を論理的に伝える力が今必要とされています。バイオサミットを通して、自分たちと同じ高校生が楽しそうかつ熱心に研究発表している様子を肌で感じられたことは、これからのIRP活動により刺激になったのではないのでしょうか。

齋藤祐佳里(引率教員)

あっけにとられたという正直な印象です。周りの高校生が私より広い視野を持っていたからです。そのような人たちと肩を並べるためにも、これから多くの体験を通して知らないことをどんどん吸収したいと思います。

早坂英人(1年・大蔵中卒)